



# 外国人と共に地域で生活するためには

八女市に住んでいる外国人は、

令和7(2025)年7月末現在、1023人です。

朝夕の通勤時間帯や、スーパーなどでもその姿を見かけることが多くなってきました。

日本の多くの地域で少子高齢化が進み、農業や建設業、介護や

福祉の分野では、外国人の人材が不可欠となりつつあります。八女

市も例外ではありません。しかし、

言葉や文化などが異なる人たちと日本人が地域と一緒に生活するな

かで、さまざまなトラブルが生じ

ているのも事実です。

そこで今回は、八女市および近隣に住んでいる外国人に直接お話を伺いました。当事者から話を聞くことでお互いの理解が進み、そのことが、私たちの住みよいまちづくりにつながると考えるからです。

## ▼外国人が今、困っていることや願いは

ボランティア団体によって、外国人

に対する日本語の学習と交流活動を行う教室が毎週開かれています。

この教室に参加しているイン

ドネシア、スリランカ、フィリピン

ン出身の方々に、次の質問をしました。

**Q 日本で生活するなかで、困っていることは何ですか。**

A. いろいろなお知らせ(例:ごみ出し)などの日本語の表現がよく分かりません。



外国人の行動に対する不満としてよく聞かれるのが、例えば「ごみ出しのルールを守らない」などです。しかし、彼らも日本語が理解できず、どうごみを捨てていいかよく分からぬのです。一方的に外国人はダメだと決めつけるのではなく、ルールを理解してもらうためにさまざまな工夫をすることが大切だと考えます。

その一例として、公的機関のお知らせの表現を簡潔に分かりやすくすることがあります。このことは、情報を受け取ることができる市民の権利を保障することにつながります。

**Q 地域や行政にお願いしたいことは何ですか。**

A. 病院や市役所に英語の案内を増やしてほしい。特に、災害時の避難所は言葉がよく分からぬので不安です。

とが一段と難しくなります。そこで、写真のようなピクトグラム（案内用絵文字）と分かりやすい日本語、英語を組み合わせたものを用意すれば不安は軽減されます。日本人も同様です。



この水は飲めます  
このみずは  
のむことができます  
Drinkable Water

このように外国人の人権を守ることは、共に地域で生活する私たちの暮らしを守ることでもあるのです。

## 人権セミナー八女 2025

【演題】「笑って元気！～高齢者の人権と地域のきずな～」

▶日時：10月21日(火)18時30分～20時

▶講師：矢野 大和さん（口演家）

▶場所：黒木支所 大会議室

詳細はチラシや市ホームページをご参照ください。